

特254

979

ドイツ共産黨の
ボルセヴィキ化

= 附 コミンテルン各國
支部の組織的任務 =

353

イ
ス
ク
ラ
閣
版

バ
イ
ス
レ
ク
ト
ラ
第
二
輯

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



特 254

979



共産黨の組織と構成

ドイツ共産黨組織部編（イスタラパンフレット第二輯）

一九二九・三

イスタラ閣



譯 序

一、本パンフレットは、ドイツ共産党中央委員會組織部に依つて出版された、該中央委員會に依つて一九二四年五月に決議された「黨組織改造の爲の組織決議」及び一九二四年一月コンミンテルン執行委員會の決議になる、「コンミンテルン各支部の組織的任務に就ての決議を載せたドイツ文パンフレットの翻譯である。

二、一九二四年コンミンテルン第五回大會に於て、「黨のボルシエビキ化」が世界的規模に於て決議され、各國の共産黨がその組織を漸次變更するに至り、ドイツに於ても見事に成就されたのであるが、このパンフレットは現在の先進諸國××黨の組織を最も簡明に記して居る。現下我國の情勢に於て参考になる點が頗る大であると思つて井上氏に乞ふて譯出出版することにした譯である。

一九二九・二・二八

イスクラ編輯局

黨組織改造に關する二の決議

(一九二四年五月、ドイツ共產黨中央委員會の議決)

序

吾黨組織の實際的活動、革命的な現在の政治情勢、多様な方法に於て革命的準備を遂行する必要は、共產黨が社會民主黨から受け繼いだ所の組織形態を現時に適應して變更することを要求する。組織變更の必要に關する認識は新しいものではない。だが、その實現は多くの困難に當面して居る。

黨組織改造に關する國際的決議は既に久しい以前から存在して居る。また黨内に於ては、ドイツ共產黨に於ける工場細胞を基礎とする組織改造の思想の爲の闘争が、前年中を通じて遂行された。にも拘らず、實際的には尙多くのものが變更されずに止まつて居る。蓋し、ドイツの黨に對

する明確な実行案は未だ存在しなかつたし、政治的事件は組織問題を背後に押しやつて居たからである。

今や遂に、フランクフルト黨大會に依る黨の結束が齎され、それ以來黨の全活動が新鮮にして活潑なる様相を示すに至つて、黨再組織の實際的遂行の時機は到來した。而してフランクフルト黨大會に於て選出されたドイツ共產黨中央委員會は、この冊子に於て該中央委員會が黨組織改造に關して作製した決議を發表することとなつた。

この決議は、モスコーに於ける一月會議で決定された所の、組織問題に關する方針を格守して居る。即ち、工場細胞と街頭細胞とはこれから以後黨組織の基礎たるであらう。工場細胞と街頭細胞の結合に依つて成る細胞群は、住居組織に於ける活動と工場に於ける活動の結合の表現たるであらう。黨費徴收と黨員登録の重點は工場に置かれるであらう。この場合にも、改造が何等黨組織を傷ふことのない様に、一步一步遂行されることを要求して居る所の、ドイツに於て存在して居る事情は考慮されるであらう。

個々の組織事業遂行の期限に就て、各地方に對しては、各地方がその種々の事情に従つて再組織の問題を規定する爲に、充分の時間が與へられて居る。各地方はこの點に就てその個別性に從つて取扱はれなければならぬ。同時に、黨員の二重登録及び住居組織の結合としての新しき細胞群の建設が第一の義務たるであらう。この場合黨費の問題に關しては、各地方はその各々の實行規定に依つて、財政的負擔の工場組織及び住居組織への必要なる分配を行はねばならない。

理論は組織の分野に於ては他の分野に於ける程の價值を持たない。こゝに印刷する決議の實行の問題もまた一の實際的政治的問題である。黨の活動分子は、吾黨組織に新らしき基礎を置く爲に、凡らゆる眞面目さと熱心とを以てこの問題に従事しなければならぬ。工場に根を下ろしたドイツ共產黨は最早何等非合法性を恐るゝ必要を持たず、他の組織とは根本的に異なり革命的闘争を眞實に遂行し得る所の組織である。

黨組織改造に關する組織決議

(一九二四年五月ドイツ共産黨中央委員會に依つて議決さる)

ドイツ共産黨の組織任務

共産黨はプロレタリアートの獨裁の爲に闘争する。共産黨はプロレタリアートの最も活動的にして進歩的なる部分として、凡らゆる労働者の闘争を意識的計畫的に組織し擴大且つ深める。ドイツ共産黨は斯る闘争の過程に於て革命の鐵の軍隊となり、労働者の戰闘的統一戦線を組織し、労働階級の大多數を獲得して、プロレタリアートを勝利にまで導き得るであらう。

黨組織の構造と方法は黨の革命的任務に適合したものでなければならぬ。工業プロレタリアートが革命的権力闘争及びサヴェイト支配の擔當者であるならば、彼等の指導者たるドイツ共産黨はその最も強固なる組織上の據點を、プロレタリア大衆が集合して居り闘争がその出發點を爲す所に持たねばならぬ。それ故に、工場に於ける共産主義細胞がドイツ共産黨の基礎を構成しなければならぬ。

工場細胞を基礎とする黨組織の根本的改造は、黨の活動能力がそれに決定的に依存する所の中の心的な政治的組織的任務である。

共産黨の組織の基礎が従來住居的地域であつたと云ふ事實に鑑みて、黨の努力は、組織を工場細胞の基礎の上に改造すると云ふ黨の實際的任務に適合する所の、計畫的な組織闘争に向けられねばならぬ。

工場細胞は黨の工場に於ける組織である。工場細胞を基礎とする黨組織の改造とは、黨の凡ての種類の活動が第一義的に工場から發し、また工場細胞に依つて遂行されねばならぬことを意味する。共産主義的工場細胞なくしては、黨は労働大衆を闘争に引き入れ動員し、彼等の氣分を正しく評價し、巧妙に進退して、プロレタリア革命を遂行する爲に最も有利なる時機を利用するとは出来ない。工場細胞なくしては決して成功的な革命的労働組合活動も、ドイツ社會民主黨の徹底的な克服も、未組織及び失業者に對する確固たる指導も、ファシスト的努力の破壊もあり得ない。共産黨の工場細胞なくしては、指導者の組織及びプロレタリア軍の建設は不可能である。

鐵道、發電所等々の工場に於けるよく作られた工場細胞なくしては、權力闘争に於ける斯る決定的な地點を支配することは決して出来ない。工場細胞なくしては、戰闘的な政治的サヴェートは何等あり得ない。

黨組織を工場細胞に基いて改造することは、黨費徵收、新聞發行及び黨員登録の重點が工場細胞に置かれることを要求する。同様に黨組織の基礎としての工場細胞は、工場に於ける共產主義の組織と宣傳に關係する事柄を討議決定するのみならず、凡ての政治的事件及び黨の事件をも同じく取扱はねばならない。工場細胞の政治的組織活動は、各黨員が工場細胞指導部から一定の仕事を分與され、その一定期限の選行を統制されねばならないことを必要とする。街頭細胞は住居地域に於ける黨の組織である。街頭細胞は住居地域に於て、特に住居者（無職者、單獨營業者、家婦、借家人、中間階級）の間に政治的組織的活動を行ふ。黨の政治的組織的指導は、分派及び各部門の活動を嚴格に統轄し、それ等に對して規則的に政治的な指令を與へてその活動を統制しなければならない。

コンミンテルン及びドイツ共產黨の諸決議に於て立てられた目的の實現は、各黨機關及び各黨員間に於ける正確なる仕事の分配を必要とする。闘争の指導部たる黨諸機關は、黨の力を労働者の闘争に於て決定的な地點に集中しなければならぬ。

ドイツ共產黨の組織

黨員

ドイツ共產黨は共產黨インタナショナルの支部である。黨及び共產黨インタナショナルの綱領、諸規則及び諸決議を自己を拘束するものとして承認し、黨の日常活動に参加し、一身を擧げて黨の諸決議の遂行に當り、規則的に黨費を拂ひ黨の新聞を購讀する者を凡て黨員とする。

組織の基礎

工場別に作られた工場細胞は黨組織の基礎を構成する。一定の工場に働く凡ての共產主義は、

その工場の工場細胞に所属しなければならない。各黨員は細胞指導部から一定の任務を與へられその遂行は該指導部に依つて統制される。

工場、職場、農場等々に働かざる黨員（無職者、單獨營業者、家婦、被使用者等々）は、街頭に從つて作られた細胞を構成する。

工場細胞の凡ての成員は、その住居する地域の街頭細胞に再登録されねばならない。

工場細胞の成員はその住居地域の街頭細胞に於て、彼等が既に工場細胞に於て票決した所の問題に就て通常決議権を有しない。凡ての工場細胞及び街頭細胞は、約三名乃至五名の同志から構成される可き指導部を選出する。

地區群^{ゲート}

小地域に於ては、工場細胞（農場細胞）及び街頭細胞の各々、または工場細胞と街頭細胞と街頭細胞とは直接に地區群に結合される。

稍大なる都市に於ては、多くの工場細胞及び街頭細胞が一つの群を構成し、これ等の群が地區に結合される。

大都市に於ては、斯る地區群が更に地方また市區に結合される。

群、地方乃至地區群には、三名乃至五名から構成され、群地方乃至地區群の總會に依つて凡ての場合に地的事情（例へば非合法性）を考慮して選出さるゝ所の、指導部が構成される。

地區指導部は、一定の工場及び農村地域に對する政治的組織的處置を各群に委任する。（後者の場合には農村諸委員會の設置）

活動地域

經濟的、地域的及び交通上の關係に應じて、多く地區群は一活動地域に結合される。活動地域は、最も遠距離にある地區群と雖も急速に集り得る如く地域的に區分せられる。活動地域指導部は地區群と小地方指導部乃至地方指導部との間の連絡機關であり、その活動地域に於ける黨の諸議決遂行の任に當る。それは地區群をして凡ての工場及び地域に對する整然たる働き掛けを爲さしめる。活動地域指導部は、活動區域内の地區指導部及び地區群の議長から構成される。

小地方

多数の活動區域の地區群は、その經濟的、政治的及び交通上の相互的依存關係に應じて小地方を構成する。小地方指導部は地區群代表者、非合法時に於ては活動區域代表者の會議に於て選出される。小地方指導部の構成員は、少なくとも一九二一年一月一日以來ドイツ共產黨に所屬する者でなければならぬ。例外の場合は地方指導部が決定する。小地方指導部は、上級黨機關の諸決議を凡ての地區群に於て遂行することを配慮する。重要なる決定に際しては、活動區域の議長は小地方指導部の會議に参加しなければならない。

地方

地方の機關は、地方黨大會、地方會議及び地方指導部である。地方黨大會は地方の最高機關であり、通常半年毎に開かる可きである。地方黨大會は地區群（非合法時に於ては活動區域または小地方）からの代議員を以て構成される。最後の三ヶ月間に於ける地區群の算定された黨員數に従つて、代議員數は地方指導部に依つて、決定される。票決權は選出された代議員のみが持つ。

青年はその地方の青年團體の大いさに従ひ、最重要の諸地區群の提議に基いて地區青年指導部から終局的に選出さる可き、三名乃至五名の票決權を有する青年代議員に依る代表を保證される。地方黨大會は、組織上の事項に就て黨中央委員會の承認を経べき自己の規則を定める。地方黨大會は、地方の政治上及び組織上の指導を責任を以て遂行する地方指導部を選出する。地方黨大會の諸決議は黨員に對して拘束力を有する。

最後の三ヶ月を通じて地方黨員の三分の一を有する諸地區の提議に依つて、地方指導部は黨中央指導部の同意を得て臨時地方黨大會を召集しなければならない。

地方黨大會から次のそれに至るまでの間に於て、地方會議は通常少なくとも六週間に一回は開かれる。地方會議は地方指導部及び小地方の政治部員から構成される。小地方の數に依つてこの後者の人員が餘りに多数である地方、乃至は個々の小地方に於ける黨員數が相互に甚しき懸隔を示して居る地方（都市郊外及び農村の小地方を同時に包含する地方）に於ては、地方指導部は黨中央委員會の承認を得た決定に基いて、地方會議の各々の場合の構成を定める。地方會議は地方

の凡ての當面の政治的組織問題に就て決定を爲し、地方指導部がその活動を遂行するのを助ける。

地方會議は、政治的組織的問題に對する地方指導部の決定を變更または承認する權限を有する。地方會議は二つの地方黨大會の中間時に於ける監督機關である。地方指導部は尙その外の黨役員をも會議に参加せしむることを得るが、この参加者は最終的な票決權を有しない。

地方指導部は地方黨大會から選出される。地方指導部員の數は地方黨大會に依つて決定される。然し、このうちには少なくとも一名の票決權を有する青年團體の代表者が存在しなければならぬ。地方指導部員の各々は、彼が共產主義青年同盟に所屬せざる限り、少なくとも一九二一年一月一日以來黨に所屬せる者でなければならぬ。例外の場合は黨中央委員會が決定する。

非合法的條件の下に於ける例外的な場合（地方指導部の逮捕等々）に於ては、上級黨機關は成る可く早く代表者會議を召集する條件の下に、地方指導部の新しき成員を任命する權限を持つ。逮捕を免れたる指導部員は、上級黨機關がそれを容許して承認する場合には、會議召集に至るま

での期間に於て、地方指導部の新しき成員を補充する權限を有する。

黨の凡ての指導部は、第一次の上級機關の確認を受けなければならない。地方の統轄内にある凡ての黨使用者（有給の——譯者）は、彼等を使用する權限ある地方機關の下に立つ。彼等は黨中央指導部の同意の下にのみ、地方諸機關に依つて雇傭され解任され得る。これに異なる場合ありたる時は黨中央指導部が決定する。

小地方活動に對して指令し助力し監督する爲に、地方指導部は各小地方に對して一名の責任者を定める。小地方指導部が活動區域の地區群に對する場合に於ても同様である。

中央委員會

黨大會は黨の政治的組織的指導並に凡ての黨機關及び役員の統制の爲に、同權の成員より成る中央委員會を選出する。その員數は黨大會に依つて定められる。共產主義青年同盟中央委員會に依つて選任される一名の代表者は中央委員會に所屬する。婦人煽動委員會議長は、中央委員會の會合に討議權を以て参加する。中央委員會は政治部局及び組織部局を設定する。

黨大會

黨大會は黨の最高機關である。黨大會は黨の綱領、規則及び國際的連絡、並に凡ての原則的及び戰術的問題を決定す。その決議は凡ての黨員を拘束する。黨大會は必要に應じて開かれるが、少くとも年に一回は開催される。各地方に割當てらる可き代議員數は、各地區の最後の四半年の黨員數に應じて、中央委員會に依つて決定される。凡ての地方は少くとも一名の代議員を出す。黨大會に對する代議員選出は、工場細胞及び地區群に於ける討議の後、地方黨大會に於て行はれる。

黨會議

黨會議は少くとも三ヶ月毎に一回開かれる。地方にして黨員一五〇〇人以下のものは一名の代表者を出し、一五—二五〇〇人のものは二名、二五—三五〇〇人のものは三名、以下これに準ず。黨會議出席者は最初黨大會に於て選出され、以後に於てはそれぞれの場合に、地方指導部、地方會議乃至地方黨大會に於て選出される。黨會議に於ては選出されたる黨會議出席者の外、黨中央

委員も票決權を有す。黨會議は黨大會から黨大會に互る期間に於て、中央委員を解任または補充する權限を有し、且つまた凡ての政治的組織的問題に對する決定を爲す。黨大會に於ては選出された代議員のみが票決權を有する。また、票決權を有する青年同盟代表者之に同じ。

會計監査委員會

中央委員會の會計事務を監督する爲に、黨大會は五名より成る會計監査委員會を選出し、該委員會は少くとも二ヶ月に一回、中央委員會の會計事務を審査す。

分派

分派は黨外團體に於ける黨の機關である。分派は何等独自の權限を有する組織ではなく、該分派の所屬する黨機關の下に立ち、その指導に依つて活動しその諸決議を執行する。これに異なる場合は、地方指導部または黨中央委員會の決定が分派全員を拘束する。分派指導部は、その成立に就てその所屬する黨指導部の承認を受くるを要す。地方諸會議、勞働組合地方事務部其他、並

に自治體議會への候補者は地方指導部の同意を経るを要す。各州議會及び國會並に勞働組合中央部等々に對する候補者は黨中央委員會之を決す。

各種議會に於て活動する同志は、中央委員會乃至黨大會に依つて何時にても召還され得る。自治體議會及び郡會に於て活動する同志に對しては、地方指導部が召還權を有する。斯る同志の彼の選出に先だつて解職承諾書に署名し、これを黨中央委員會または地方指導部に提出しなければならぬ。

黨費

凡ての黨員は、黨費の規則的な納入に就て自分自から配慮しなければならない。最低黨費は黨中央委員會の指示に依つて地方指導部がこれを決定し、一週間毎に納入される。地區群は地方指導部の同意を得て、地區附加徴收を爲すことを得る。工場細胞に屬する黨員は、通常其處に於て彼の黨費を納入する。街頭細胞に組織せられたる黨員は、街頭細胞に於て納入する。

地區會計は次の月の十日までに地方指導部に對して、直接に活動區域を通じて清算を爲す。黨

中央部は黨費の三十パーセントを保有す。地方指導部及び地區群間の黨費の残余の分配は、地方黨大會がこれを決定する。新入黨の黨員は、一週間の黨費に匹敵する入黨費を納入する。

黨新聞

黨新聞の政治的戰術的な全態度は、中央委員會の統制下に立つ。凡ての概、中央委員會の其他の發表は、凡ての黨新聞に掲載される。

規律

ドイツ共產黨は、その陣營に於て嚴格なる規律を以て格守されなければならない所の、中央集權的組織である。黨の決議及び指導は、各黨員に依つて無條件に遂行されねばならない。綱領、黨規則、決議及び規律に違反したる黨員に對しては以下のことを以つてし得る。

(一) 訓誡

(二) 黨職の一時解任

(三) 除名

これ等の處分の勸諭は各所屬の地方指導部に向つて爲され、地方指導部はこれが決定を行ふ。地方指導部は獨自に除名處分を行ひまたは決定することを得る。地方指導部の決定に對する抗告が二週間以内に中央委員會に提出される時は、中央委員會は五名より成る判決委員會を任命し、被告側及び地方指導部側に立つ各二名の委員及び議長は、二週間以外に中央委員會に依つて決定されねばならない。最終の控訴機關は黨會議または黨大會である。

中央委員會は獨自に黨員の前掲の規律違反を處分し得、これに對する控訴は唯だ黨會議または黨大會に向つてのみ爲し得る。

除名されたものゝ再加入は、除名を行つた機關が再加入に就て承認した場合にのみ行はれる。

工場細胞を基礎とする組織改造の遂行

ドイツに於て工場細胞を基礎とする組織改造を二ヶ月間に遂行することを命じて居るコミンテルンの決議を執行する爲に、中央委員會は各機關及び各黨員に義務として課するに期限付きの以

下の如き任務を以つてする。

(一)八月一日まで

(a)工場に働く凡ての黨員を工場細胞に編入すること。街頭細胞及び労働組合分派の黨員名簿に依つて、工場に働く凡ての同志が確定されて、それぞれの細胞の長に告知される。或工場に於て單に一人の同志乃至數人の同情者しか働いて居ない場合には、この工場を受持つ細胞群に斯る者の名前と住所が、材料を獲得し常に告知を爲す爲に報告される。

失業した同志は出来る限り彼の以前の工場の細胞に所屬せしめられ、若しくは彼の住居區域の群の工場細胞に屬せしめられる。

(b)工場細胞の凡ての所屬者は細胞指導部から一定の活動任務を與へられ、その遂行に當らねばならない、黨の諸指導部は先づ第一に工場細胞指導部に材料を供給せねばならない。

(c)工場細胞及び街頭細胞は諸工場的情勢に應じて細胞群に結合する。

(d)細胞群指導部は地區群の指導の下に、工場細胞の成立せざる凡ての工場を、整然たる働き掛

けを爲す爲に受持の工場細胞または街頭細胞に分配する。

(e) 重要な工場細胞及び工場に對しては、政治的組織的活動を系統的に助力し統制する爲に、經驗ある活動分子が分配される。

(f) 鐵道、電氣事業其他所謂必須工場に於ける工場細胞の創設は、特に強力に遂行されねばならぬ。

(二) 九月一日まで

a) 遅くとも八月一日から、工場細胞員の細胞に依る黨費徵收が行はれる。

b) 七月二十五日までに各細胞員は、彼が何れの細胞に屬し八月一日から該細胞に黨費を納入する旨の告知書を受取る。彼はこの告知書を所屬街頭細胞に呈示する。

(c) その黨員の黨費が他地區の細胞に於て徵收さるゝことに依つて、その収入が甚だしく減少する地區群は、財政状態を規正する爲に直ちに地方指導部と連絡を取る。

(三) 十月一日まで

(a) 各街頭細胞指導部は細胞の活動綱領を決定し、街頭細胞の成員に仕事を分配する。工場細胞に屬せざる男女黨員は、先づ第一に活動に引き入れられる。

(b) 工場細胞及び街頭細胞は、永續的な系統的働き掛けの爲の一定の地域を、細胞群に依つて分配される。

(c) 新聞及び文書の作成は先づ第一に工場細胞に於て爲されねばならない。出版物に依る活動の指導と宣傳煽動部とは、組織改造計畫に結び附いて居なければならぬ。

(四) 報告

地區指導部及び地方指導部は上掲の各期限までに、工場細胞を基礎とする組織改造に就て詳細なる特況報告を、作成せねばならない。八月一日までに地區指導部は、組織事業に關する綜合的報告を地方指導部に呈出する。地方指導部は六月十日(誤りか? — 譯者)までに、地區報告に附加文書を添へて中央委員會へ呈出する。

附 録

コミンテルン各支部の組織任務に関する

執行委員會決議（一九二四年一月）

工場細胞の組織に関するコミンテルン執行委員會決議

黨組織は黨活動の條件と目的に適合したものでなければならぬ。投票を以てブルジョア國家に影響を及さうと努めた所の社會民主黨の改良主義政策に於ては、當然主たる注目は選舉者の組織に向けられた。それ故に、選舉區域及び住居區域に従つた組織が作られた。

斯る組織構造はまた、社會民主黨から共產黨へも傳つた。然し乍ら、斯る組織は共產黨の最終的に矛盾するのみならず、直接にその任務とも矛盾する。吾々の黨の最終目的は、ブルジョアジーの支配の顛 \times 、労働階級に依る權力の獲得、 $\times\times$ 主義の實現である。その直接の任務は、

労働大衆の日常闘争に活潑に参加しこの闘争を指導することに依つて、労働階級の大多數を獲得することに於ける。これは、吾々の黨組織と労働大衆が工場に於て最も緊密に結合することに依つてのみ到達され得る。

斯る理由からして、既にコミンテルン第三回大會は、共產黨の基礎は、工場細胞たる可きであると決議した。だが、コミンテルンの大多數の支部に於ては、これは尙今日まで實行されて居らず、多くの支部に於ては工場別に依る細胞組織の問題が提起すらされなかつた。然し乍ら、ドイツ革命（一九二三年末の）の經驗は、工場別に建設され労働大衆と最も緊密に結び附いて、居る細胞が無ければ、黨は大衆を闘争に引入れて指導することも、彼等の氣分を正當に評價することも、最も有利な時機を利用してブルジョアジーに對して勝利を獲ることも出來ない、と云ふことをも一度最も明瞭に呈示した。

地區組織の基礎形態

(一)工場別に作られた黨の細胞が、黨組織の基礎を構成する。

一定の工場に働く凡ての共產主義者はその工場の工場細胞に所屬しなければならぬ。

(注意) 一人か二人しか黨員が働いて居ない工場に於ては、斯る黨員は最も近接した工場細胞に繰入れられる。斯る細胞は、その附近にある細胞なき凡ての工場にまでその活動を擴張しなければならぬ。

(二)工場、職場、店舗等々に働かない共產主義者(家婦、家庭被用人、門衛等々)は、街頭別に(住居に従つて)作られた細胞を構成する。

(注意)他の地域に住居する工場細胞の凡ての成員は、その住居する地域の細胞群に登録されなければならぬ。細胞群委員會は彼等を街頭細胞に赴かして活動に参加せしむる。細胞群委員會に依つて街頭細胞に送られた所の、他の地域の細胞の成員は、前記の細胞に於ては彼等が既に工場細胞に於て票決した所の問題に(黨の原則的問題、代表者の選出等々)に就ては票決権を有しなす。

(三)失業者は、彼等が以前に働いて居た工場の細胞の成員として留まる。失業が長期に亘る時は彼は地域指導部の許可を得て上記の細胞から解放され、他の細胞に所屬される爲に彼の住居地域の細胞群に編入されることを得る。

(四)小工業中心地、即ち労働者とその工場または農園の傍らに居住して居る如き町又は村に於ては事情に依つては混合的な細胞が工場または農村を中心として作られる。

(五)工場細胞または街頭細胞は三人乃至は高々五名より成る委員會を選出する。この選挙は全員の細胞總會に於て行はれる。細胞委員會はそのうちに於て仕事を分擔する。委員會は細胞の大きさに應じて、細胞員より文書の作成頒布、宣傳、工場委員會に於ける活動、労働組合活動婦人に對する働き掛け等々に當る者を決定する。

(六)工場細胞の成員たる黨員は、其處に於て彼の黨費を納入する。街頭細胞に組織された黨員もこれに準ず。

(七)多くの工場細胞及び街頭細胞が存在する大都市に於ては、それ等は細胞群に結合される。細

胞群は地區に結合される。大都市の凡ての地域は地域群を構成する。地區指導部は各細胞群の區分を爲す。各細胞群の區分は出来るだけ大工場を考慮して行はれる。

中都市に於ても、工場細胞と街頭細胞とを結合した細胞群が構成される。細胞群は地區群に結合される。町及び村に於ては、細胞が直接地區群に結合される。中都市の組織と町及び村の地區群とは、活動地域及び小地方に結合される。

(注意)細胞群並に地區は、地區の事情及び必要に應じて、該地區内の工場細胞及び街頭細胞の凡ての成員に依る規則的な會合を開く。

(八)細胞群、地區及び地區群は三名乃至五名の委員會を有し、當該の細胞群、地區乃至地區群の細胞成員の組合、乃至地域的狀態(例へば非合法性)に依つて開かれる代表者會議に於て選出される。地區委員會及び地區群の議長は、地方指導部乃至小地方指導部の承認を経なければならぬ。地方及び小地方には地方指導部及び小地方指導部があり、地方及び小地方の會議に於て選出される。

地區及び細胞群の代表者會議、並に地方及び小地方の會議に於ては、各細胞は工場細胞の代表者が多數となる如き比例に於て代表されねばならぬ。地方指導部及び小地方指導部は、各細胞に對する選出基準を決定しなければならぬ。

非合法性の結果地方及び小地方の會議へ多數の代表者を出し得ざる所の諸組織は、代表者選出は直接に細胞に於て行はれず、細胞群、地區乃至地區群の代表者會議に於て行ふことを得る。

(十)(大都市に於ける)地區群指導部は、各地區の黨員數に比例して選出される所の凡ての地區の代表者よりなる都市會議に於て選ばれる。

(十一)工場細胞の影響力を強める爲に、細胞群委員會に於ても地區委員會に於ても、委員の半數以上は工場細胞に所屬する者でなければならぬ。都市の地方指導部へは一部分は工場の労働者が引入られねばならぬ。

(十二)非合法的條件の下に於てより上級の黨機關は例外的な場合(地方指導部の逮捕等々)に於て出来るだけ急速に代表者會議または會議が召集され其處に於て任命された指導部が確認されるか

新らしく選出されると云ふ條件を以て、地方指導部の新しき成員を任命する権限を有する。逮捕を免れたる指導部の成員は、上級黨機關これを承認し且つ確認する場合には、會議の召集に至るまでの間に於ては指導部の新しき成員を補充選任する権限を持つ。非合法時に於ける地方指導部の人員数は出来るだけ少数でなければならぬ。

工場細胞の任務

黨の政治的組織活動の重點は工場細胞に置かれねばならぬ。

工場細胞は労働大衆の日常要求に對する闘争を指導することに依つて、彼等をプロレタリア獨裁の實現の爲の闘争に導かねばならない。それ故に細胞は機會を逸することなく、労働大衆を揺り動かす所の政治的經濟的問題に就て討議して其意見を決定し、工場に於て發生する凡ての衝突に就て充分なる討論を爲さねばならない。細胞は労働者に問題の革命的な解決方法を指示し、労働階級の最も意識的にして活動的な部分として、闘争の指導をその手中に掌握しなければならぬ。

工場細胞の任務には黨の一般的任務の外に次の如きものがある。

- (一) 黨外労働大衆の間に於ける共產主義的煽動及び宣傳、個々の労働者に對する系統的な個人的働きかけと彼等の共產黨への引き入れ、工場に於ける政治的文書の頒布、種々なる工場的重要問題の解明指示、更に進んで特別な工場新聞の發行、工場の労働者の間に於ける教育啓蒙事業。
- (二) 工場に於ける凡ての活動地位(労働組合、消費組合、工場委員會、管理委員會等々)獲得の爲の、撃拗にして永續的な活動。
- (三) 労働大衆の凡ての經濟的闘争及び要求に對する細胞の参加。細胞の任務は運動を擴大深化し、労働者に闘争の政治的歸結を指示し、より廣汎なる(政治的のみならず經濟的)闘争を起すことに依つて、彼等をしてブルジョアジー及びファシズムに對する統一戦線を形成せしむることにある。

(四) 細胞は工場及び職場に於て、諸他政黨、即ち社會民主黨並に其他の「労働」諸黨の流派及び成員と撃拗に闘争しなければならぬ。この場合には、労働階級の後れたる層にも理解し易き所の

これ等諸黨のやり方に就ての資料を利用しなければならぬ。

(五) 就業者と失業者との間の結合(彼等の中の闘争を防止する爲に)

(六) 條件がそれに熟して居るときは、生産、銀行、農園、交通手段の労働者管理の爲の闘争、生活資料の労働者に依る調達の爲の闘争を行ふ。

(七) 工場に於ける青年及び婦人に働き掛けて、彼等を闘争に引き入れる。共産青年同盟の細胞形成に助力し、それが成立して居る所ではそれを支持する。

(八) 凡ての細胞員は工場に於ける黨の凡ての活動に活潑に参加する。それは細胞委員会(細胞指導部)に依つて彼等に配分される。

これ等のその工場に於ける特殊的任务の外、工場細胞はまた地域的任务を持つ。蓋し、工場に働く労働者はまた彼の居住地域に於て、種々なる要求を持ち多様な社会的機能を果して居るからである。(住宅問題、各種の扶助制度、健康衛生保全制度、學校問題、教養啓蒙制度、選挙等々)最も重要な、地域的任务は以下の如し。

(一) 住居地域に於ける黨の政治的組織的活動、各種闘争(選挙闘争、住宅難及び物價騰貴に對する闘争)の遂行、労働者、下級俸給者及び中間層の家族に生活必需品保證要求の闘争。

(二) 黨文書の頒布、新しき讀者及び黨員の獲得、黨外者に對する宣傳及び個人的働き掛け、一定地域に於ける教育事業クラブ等々、示威運動の場合に於けるまた一般に労働階級の闘争に對する同情者の獲得。

(三) 地域に於ける居住に對する煽動、地域居住者の黨加入状態、ファシストの政治的煽動並に一般活動状態に對する報告事務、兵營に對する監視等々。

(四) 婦人及び兒童の間に於ける活動。

以上の如き地域活動は街頭細胞にも適用される。街頭細胞の活動は地區委員會の直接の指導下に立ち、工場細胞の活動と一致しなければならぬ。

工場細胞の組織の實行

問題がコミンテルンの多くの支部に取つて新奇なものであること、各國に於ける條件が各異つて居ることからして、コミンテルン執行委員会は、各支部が先づこの問題をその新聞及び黨の諸集會に於て討議し、而して後に工場細胞を基礎とする黨の再組織に進まんことを提議する細胞は最大工場に於て先づ組織されねばならない。

細胞は決して、労働組合、協同組合等々に於ける共產黨の分派と混同されてはならない。細胞は分派の機能を他のものに依つて代へられ得ない。分派の機能は細胞派の機能よりも狭少である。細胞、即ち正確には細胞の指導部は、労働組合分派の活動をもその工場に於て指導しなければならぬ。

コミンテルン執行委員会はコミンテルンの凡ての支部に對し、茲に吾々に依つて論ぜられた諸問題に對する討議の進行状態、並に工場別組織の成果に就て詳細に報告されんことを切望する。

ドイツに於ける工場細胞組織に関する指令

ドイツ共產黨の工場細胞の組織に關して、以下の如き特別の指令がコミンテルン執行委員會幹部會に於て作成された。

(一) 同黨は、本執行委員會に依つて採用された工場細胞組織に關する決議(上掲)に従ひ、工場細胞が黨組織の基礎たる如くその再組織を遂行しなければならぬ。

(一) 細胞群及び地區群の指導部成員の大多數は、工場細胞員から成らねばならぬ、大都市は地區に區分される。地區群委員會の諸指導部はその成員の一部分を工場内の労働者から取らねばならぬ。

(二) 工場細胞及び街頭細胞は細胞群に結合され、地區委員會の統制下に立つ。地區委員會は細胞群を出来る限り大工場を中心として形成せしむる。

黨外労働者大衆團體並にその諸機關に於ける 共産主義的分派に關する指令

序 論

黨外團體に於ける共産黨分派形成の問題は、その影響力を廣汎なる黨外大衆に對して確保する共産黨の必要と緊密に結び附いて居る。斯る影響力を實現し得んが爲には、各共産黨は自己外の周圍に於て共産黨の政策を遂行する所の機關を利用しなければならぬ。共産黨の分派はまた斯る機關に屬する。黨指令の正しき遂行は、共産主義の統一した意志、統一した戰術、彼等の行動の整正、換言すればそれなくしては共産黨の正しき活動が考へ得られざる所の性質を確保する正しき組織に依存する。

同時に、共産黨の分派が成立すると云ふ事實に依つて、黨諸機關との相互的關係の問題もまた

發生する。この相互關係が全黨の利益との一致に於て確定されないならば、共産主義分派の活動の満足す可き結果は決して期待し得ない。共産主義分派は決して、黨生活の凡ての問題を解決する權利を持つ所の、独自の權限を有する組織ではない。それは、共産主義分派が活動す可き分野及び地域に於ける黨の活動を指導す可き黨諸機關に從屬する。即ち個々の工場の工場委員會に於ける、分派は工場細胞に從屬し、都市の協同組合、市會乃至労働組合に於ける分派は、都市に於ける黨組織の委員會に從屬し、各地方議會及び國會に於ける分派は黨中央委員會に從屬する。

上述の從屬の方法及び様式は、最も權限なき分派なると最も重要な分派たるとに拘らず、常に完全に適用される。

工場委員會が工場全體に關する問題を討議決定して居る工場に於ては、工場委員會に於ける共産主義者の工場従業員に對する活動に關しては、黨細胞全體が責任を有する。それ故に黨細胞に工場委員會に於ける共産主義分派が獨自に黨細胞全體を代表するのに任せて置くことは出来ない。黨細胞は斯る分派、共産主義者を通じて、工場委員會にそれ自身の指令を遂行する。分派が斯る

指令に違反するかその遂行を拒否する場合には、黨細胞は斯る共產主義者を工場委員會から召還するか、彼等を強制して細胞の決議に服従せしめる。斯る事柄は、黨の基礎であり、第一次の構成單位である黨細胞は、全黨の指令を遂行すると云ふ事情からして全く正當である。更に、細胞は地方組織全體並に黨全體に關係する問題を討議決定するが、分派は工場委員會の問題のみを討議する。

同様のことは、各都市に於ける労働組合、協同組合乃至市會に於ける分派にも當てはまる。斯る共產主義分派の活動、行動及び決議に關する責任は、労働者、農民、俸給生活者及び下級官吏大衆に對するものとしては、個々の分派成員にも全分派にすらも歸するものではない。これ等の大衆に對するものとしての責任は、當該都市の黨組織に、時としてはまた黨全體にある。然し、責任の問題は暫く措くとするも、都市に於ける黨委員會は一般政治情勢を明確に觀取し、一定の時機に於て如何なる要求が掲げられねばならないか、個々の期間に於て如何なる要求がより重要であるかを容易に決定し得られる、と云ふ事情もまた考慮されねばならぬ。それ故に全黨の利益

は、この場合に於ても、分派が當該所屬の黨機關の凡ての指令を嚴格に遂行し、常に後者の統制の下に活動することを必要ならしめる。斯る分派の成員はその黨員としての資格に於て、彼等の細胞に於て、彼等の地區、地方及び細胞群の組合に於て、黨の凡ての問題を討議決定する。これ等の所に於ては彼等もまた、誤つた指導及び分派の受取つた誤つた指令の故に、黨諸機關に對して批判を行ふことが出来る。

地方議會及び國會に於ける共產主義者の行爲行動、約言すれば全國的範圍に於ける分派の行動に關しては、共產黨全體が責任を有する。このことからして、國會に對する共產黨候補者、労働組合中央部及び工場委員會中央機關に對する分派成員に關しては、黨中央委員會が特別の注意を拂ふことが必要となる、これ等を注意して選任することは、これ等の分派にある共產主義者の行動に依つて黨が腐敗せしめられず、黨の方針が完全に遂行されることの保證たるであらう。斯る分派の成員の選出に對する丁度同様に、彼等が黨諸機關の決定を違奉せずそれを輕視する可能性に對して注意が拂はれなければならない。蓋し、全國的規模に於ける機關（國會、並に労働組合

協同組合及び工場委員會の中央部)内の共產黨分派の役割が重要であればある程、斯る分派は黨に對する獨立の傾向を益々顯著に現はすであらうからである。

廣汎なる大衆との組合を達成し、斯る大衆を資本主義に對する勝利的闘争に導く可き嚴格なる組織を創設せんとする努力は、共產黨が凡ての黨外團體内に共產黨の分派を作ること適當なる注意を拂ひ、黨諸機關と共產黨分派との間の正當なる相互關係を創造しないならば効果なきものとなるであらう。然し乍ら同時に共產主義分派の組織に當つては、全組織活動の重心が工場細胞の創設、並にそれを黨組織全體、黨全體の基礎たらしめることに置かれねばならない、と云ふ前提の下に行はれなければならない。

黨外労働者團體並にその機關に於ける共產主義分派に關する指令

(一)凡ての労働者及び農民の團體及び諸機關(労働組合、協同組合、文化的教育的團體、スポーツ其他の團體、工場委員會、失業者委員會、地方諸議會、自治體役所、市會、國會等々)に於て

少なく共三名の共產主義者が存在する場合には、黨の影響を増大し黨外的環境に於て黨の政策を實現する爲に、共產主義分派が組織されねばならない。

(二)共產主義分派はその重要性の如何に拘らず、當該共產主義分派が設置される團體及び諸機關が地方的意義のものか、乃至は一般國家的意義のものであるかに従つて、それぞれの黨機關即ち黨細胞(黨細胞指導部)、地區指導部、都市及び地域指導部、地方指導部、大地方指導部大地方指導部乃至は黨中央委員會の統制下に立つ。斯る黨諸機關よりして共產主義分派は必要なる指令を授けられる(例へば或工場の黨細胞は上級黨機關より與へられた指令に従つて、工導委員會に於ける共產主義分派の活動を統制指導する。地區指導部は、當該地區内に在る凡ての黨外團體及び諸關に於ける共產主義分派の活動を統制指導する等々)。それに就てそれぞれの黨機關の正式の決定が存在する凡ての問題に就ては、分派は嚴格完全にその決定を遵守しなければならぬ。

(三)黨指導部に於て一定の分派に關する諸問題が討議される場合には、黨指導部はこれ等の問題を根本的に準備し、その下に黨が活動する警察的狀態が許す限り、この目的の爲に分派の代表と

の間に豫備討議を行はねばならない。

(四) 共產主義分派は當該所屬の黨指導部の同意の下に自身の指導部を選挙し、それは分派の活動に關して當該所屬の黨機關に對して責任を負ふ。

(五) (各團體の——譯者)の大會(代表會議)から次のそれに至るまでの期間に於ては、労働組合乃至協同組合統轄部に於ける分派は、當該都市の労働組合乃至協同組合に所屬する共產主義者を統轄し指導する。一都市または一地方の労働組合聯合の會員であり又はそれ等の地方に於ける協同組合の會員である共產主義者に就ては、上述の如き指導統轄機關は當該労働組合、労働組合聯合乃至協同組合統轄部に於ける分派である。

斯る凡ての分派は地域及び地方の黨指導部の統制下に立つが、また労働組合、労働組合聯合、協同組合會議、これ等の團體の地域、都市及び地方の會議に於ける分派に對してその活動を報知する。上述の諸組織の統轄部に對する候補者は、地域、都市及び地方の黨指導部の同意の下に、(各團體の)——譯者)各々の大會及び會議に於ける黨分派に依つて決定される。このことは個々の

労働組合に就ても、各州及び全國的規模に於ける労働組合聯合、協同組合其他の團體に就ても適用される。

(六) それぞれの黨指導部はその成員を分派に派遣し、分派の如何なる成員をも罷免する(分派を以て斯る方策の理由を了解せしめた後に於て) 權限を有する。

(七) 労働組合統轄部及び種々の團體及び機關の幹部に對する共產主義分派の立候補行爲は、無條件に當該黨機關の同意の下に共產主義分派に依つて行はれねばならない。斯る共產主義者の罷免及び交代に關しても同様な方法に依つて行はれねばならない。

(八) その内部的な生活及び日常活動の問題に關しては、分派は自主である。黨指導部は分派の日常活動に干渉す可きではない。反對に黨指導部は、分派に對して出来るだけ多くの活動自由及び自發性の餘地を與へねばならぬ。分派の權限に關する何等の問題に就て黨指導部と分派との間に本質的な意見の差異の存する場合には、當該黨指導部はその問題を分派の代表者と改めて討議し分派に依つて實行されねばならない所の最終的決議を作成する義務を有する。

四二

(九)分派の例に於て、討議に上される政治的意義ある凡ての問題は、黨指導部代表者の出席を見て、討議されねばならない。黨指導部は分派よりの要求ありたる場合は、その代表者をそこへ派遣する義務を有する。

(十)分派の活動しつつある労働者組織又は機關に於て決定される所の凡ての問題は、豫め分派の總會、事務局乃至總務部に於て討議されなければならぬ。

(十一)黨機關、黨細胞の諸集會地區其他の諸組織、黨の諸會議及び諸大會またはそれ等につて選出された諸統轄部は、分派の活動報告を受取り、分派の以後の活動等々に關する戰術及び政治的方針を決定する。

(十二)分派に於て決定を見た所の凡ての問題に就ては、分派成員は當該所屬組織の總會に参加して票次に加はらねばならない。この規定に違反する凡ての事實に對しては、黨監督機關を通じて規律遂行方法が施行される。(終り)

發 兌	ドイツ共產黨の ボルセヴィキ化			昭和四年三月十五日印刷 昭和四年三月二十五日發行
	印刷所	發行者	譯者	(定價金貳拾錢)
東京戸塚源兵衛七二番 振替東京六三二四四番	イスクラ閣印刷部 東京戸塚源兵衛七二番地	熊木吉五郎 東京戸塚源兵衛七二番地	イスクラ閣編輯局	

イ
ス
ク
ラ
閣

320
603

終

